

# 同友しずおか 2018 12 VOL.481



私の逸品

(株)Next gate

創業当初からの“相棒”



静岡県中小企業家同友会

# 同友会で経営者が変わる、社員が変わる、会社が変わる。



## 中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。



## 同友会3つの目的

1

### よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

2

### よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3

### よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。



## 平成30年度 重点課題

- I. 経営指針成文化の環境整備を進め、労使見解に基づく人を生かす経営の実践企業を増やします
- II. 中小企業振興基本条例運動を推進し、県・市町の行政・金融・関係機関との連携を強化し地域づくりをめざします
- III. 2020年ビジョン3年目にあたり、早期に1200名会員を達成し、支部のさらなる活性をはかります

## 新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1074 名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
いしやま 石山 美歌	ラウンジ ジャジーラ 飲食業 (社交飲食店、酒などを提供)	御殿場	長島 和彦
かつまた 勝俣 圭司	(有)オーケーランドリー クリーニング業 (クリーニング全般)	御殿場	長島 和彦
あらい 新井 清師	バリュー・トーカイ(株) 保険・車リース・OA機器販売 (損害保険・生命保険・リスクコンサル・車リース・OA機器・ヘルスケアサポート商品販売)	三島	高木 基
やまもと 山本 翔一	山本機工(株) 製造業 (空調機器用圧縮機部品、歯車部品)	静岡	赤井 秀敏
わたなべ 渡辺 洋平	(株)オフ・コーポレーション 小売業、通信販売 (趣味の木工、日用大工用品の販売、木工教室の運営)	静岡	太田 誠
たなか 田中 利明	(株)T・プランツ 農業 (お米・花苗・野菜苗生産)	志太	太田 誠
おちあい 落合 孝康	落合孝康税理士事務所 税理士業	榛原	鈴木 徹
やぎ 八木 保之	共和建設(株) 建設業 (公共工事の受注を主とした土木工事・アスファルト舗装工事)	榛原	鈴木 徹

## 名義変更による新名義人 (敬称略)

氏名	社名	所属支部	旧名義人
おちあい 落合 良治	サンコー防災(株)	御殿場	渡辺 裕之

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyuからのご確認をお願い致します。



## 創業当初からの“相棒”

(株)Next gate (富士支部)

代表取締役 滝 和也氏



滝 和也氏

### 黄色い建物が目印 富士市の「相談しやすい写真屋さん」

県道396号線沿いにある黄色い建物、「写真スタジオシユン」。2面の写真スタジオとふりそで専門店を併設する、融合型写真館です。ここを経営する滝和也氏(株Next gate)を訪問しました。

滝氏は写真専門学校を卒業後、他社のスタジオに入社し、そこで8年間腕を磨きました。その後、2013年に(株Next gate)を設立。人物撮影を中心に、撮るなどを交えたロケーション撮影にも力をいれています。

### 被写体の素の顔に迫るのが 写真家の仕事

写真家としてのこだわりについて滝氏に尋ねると「よい写真には経験が必要」と話してくれました。綺麗に見せる角度や明るさ、豊かな表情を作るポイントなど様々な面で、経験に裏打ちされた感性が求められます。記念写真は、一生に一度の大切なもの。そこで滝氏は、素の表情を引き出すことにこだわり、撮影を行っています。「被写体の素の顔に迫るのが写真家の仕事」と語る滝氏。「人は皆、それぞれの関係性のなかで期待される表情をつくって生きているものです。また、慣れない写真スタジオでは、照れや緊張もあると思います。そういったものすべてをとり払った向こう側に、その人が見えてきます。その瞬間をカメラで捉えるのは、鳥肌が立つほどの感動があります」とのことでした。

### 創業時からの仕事の「相棒」

今回の表紙で滝氏が構えているカメラは、起業時に購入した「キヤノンEOS-1D」です。



相棒「キヤノンEOS-1D」

5年前のモデルですが4K動画記録を実現。美しいボケ味を生かした印象的な映像表現が実現できる、35mmフルサイズ、約1,810万画素のCMOSセンサーを搭載しています。加えて、暗いシーンにおいても美しい写真が撮影できるよう、常用ISO感度は最高ISO25600まで拡大されています。また、EOSの性能を最大限に引き出す60種類以上のレンズとの組み合わせにより、高画質で多彩な描写力を発揮します。ハリウッド映画でも採用されているこのカメラを、滝氏はまるで体の一部のように使い、様々な写真を撮っています。

このような高性能カメラは、1年に1度メンテナンスを行うそうです。シャッターを切る回数で寿命が決められている、とのこと。メンテナンスに出すとシャッターを切った回数がかかるようになっており、その回数を確かめて修理をするそうです。まだまだ現役で活躍している、創業当初から相棒であるカメラを大切に扱う滝氏。その姿を見て、写真屋さんも私と同じく職人だと思いました。そして、モノに対するこだわりと大切さを痛感し、滝氏から発せられる若い力をうらやましく思いました。

取材・記事 渡邊 正仁氏

(南丸之工務店・富士支部)

### (株)Next gate

〒416-0931 富士市蓼原61-2

TEL : 0545-65-5656

URL <https://www.studio-shun.com/>

設立 2013年7月

社員数 正規4名 パート6名

入会年月 2016年10月

事業内容 スタジオ撮影、出張撮影、  
呉服販売・レンタル

常に本物を提供したい  
「時代に合わせて全力特化」する

不二高株  
専務取締役 高島 邦栄氏（沼津支部）



左から、高島邦栄専務(会員)、高島弘光社長、高島規嘉会長

幅広い経験と見識を携えて入社

沼津市西熊堂で建築建材の卸売業を営む不二高株。その専務取締役である高島邦栄氏を訪問しました。高島氏は創業家出身で11年前に入社し、営業職を担当しています。入社前は製造業や建築設計事務所に勤務していたこともあり、そこで培った幅広い経験と見識は今の業務でも生かされているそうです。

同友会の入会は、取引先の社長から「異業種と知り合うことができ、勉強になる」と誘われ、業務に生かせると思ったことがきっかけです。もともと人前で話すことが苦手だったという高島氏。父である高島規嘉会長からも「職人気質で人を使うことが苦手」という評価をされるほど。しかし、同友会に入会し多くの人と触れ合うなかで、それらにも慣れ、自信がついてきたと語ります。

本物の健康建材の追求  
「百年炭蔵」

不二高株が目指すものの一つは健康増進住宅です。健康増進住宅



不二高株 外観

は医療関係の法律などで広がりにくいことが現状ですが、本物の健康素材の普及は「うつ対策」「上質な眠り」への効果が期待されると、高島さんは力強く語ります。もう一つは、食品加工（特に熟成）の分野のバックアップです。炭の特性を生かした自社独自の熟成庫を使い、食品加工に新しい価値を付与し「日本の技術で作ったブランド力」で海外輸出にも力添えができると思います。これからの建築市場は縮小していくと言われていますが、新たな分野に力を入れ、不二高独自の商品を開発し、切り拓いていきたいと話してくれました。

やりがいを感じられる魅力  
ある会社を目指す

取材に同席した高島会長の実体験に基づく説明は、非常に訴求力がありました。高島会長の夢は膨らみます。将来は新しい建材・デザイン、県産材と炭のコラボなど様々な創造ができる研究所が欲しいそうです。

また、目下の課題は多くの経営者に共通する「人」と言います。入社後10年程の中堅となった頃、辞めていく。または、他社に引き抜かれる。しかし「社員がハンティングされるようでは、ウチも捨てたもんじゃないな」と逆に自信を見せるポジティブさも光ります。とはいえ、人材の確保は喫緊の課題であり、人手不足は建築業界全体における問題でもあります。

今後は経営者と従業員が同じ方向を向き、社員に建築建材の卸売業の仕事の喜びがどこにあるのかつまりは、やりがいを感じられる



こだわりの建築資材が整然と並ぶ

魅力ある会社にしていくことが重要と言います。経営者と社員が近いことは中小企業の良い面でもあると考え、日頃から社員に目を配り、積極的に評価するように心掛けています。時代に合わせて変化を恐れず、常に研鑽を重ねる姿勢にますます発展する将来像を見ました。

取材・記事 山田 高士氏  
(株)山春建設・沼津支部

取材 大場 豪文氏  
(株)文豪社・沼津支部

不二高株

〒410-0051 沼津市西熊堂696-7  
TEL：055-924-2000  
URL：www.fujiko-bbc.co.jp

設立 1946年  
社員数 20名  
入会年月 2016年4月  
事業内容 建築建材の卸販売  
「百年炭蔵」の技術提案・販売

会員訪問記

新卒2名同時入社から1年  
成長と頼もしさを実感

(有)静清鉄工  
代表取締役 大多和 宏明氏 (静岡支部)



溶接作業の様子

鉄骨工事、金属加工の  
スペシャリスト

静岡市清水区河内にある(有)静清鉄工を訪問しました。今年の2月に代表取締役就任した大多和宏明氏は同友会に入会して3年目。現在は、静岡支部青年部の部長を務めています。

(有)静清鉄工は金属加工を得意とし、一般建築物の鉄骨から、テントの骨組み、階段や門扉等、金属加工に関わる様々な仕事を手掛けています。1970年に、大多和氏の父が庵原の自宅近くで開業しました。高度経済成長に乗って順調に事業は大きくなり、バブル期に土地を買って現在の場所に工場を建てました。大多和氏は大学卒業後、1年間同業他社で勉強した後、25歳の時に入社。当時はバブルが崩壊した後で、仕事もかなり少なくなっていました。社長である父は会社ほとんど出てくず、現在も勤務している60代の社員と2人で、ほとんどの仕事に対応していました。このような状態がつい最近まで続いていたと言います。

想定外の 新卒2名同時入社

大多和氏に転機が訪れたのは昨年のこと。子どもの知人2人が「働



大多和 宏明氏

かせて欲しい」と会社を訪ねてきました。当時忙しくなっていたこともあり、社員の採用を考えていましたが、即戦力となる中途採用しか頭になかった、と言います。それが、まったく経験のない新卒、それも2人同時です。悩みに悩んだ末に、受け入れを決断しました。普段の仕事をしながら、ベテラン社員と2人で彼らに仕事を教えていくのは、とても大変でした。まだ社会に出たばかりで学生気分が抜けきらず、寝坊して会社に来ない社員をアパートまで迎えに行ったこともあるそうです。

その大変な時期を切り抜け1年が経った今、各自がひとりで仕事ができるようになってきました。今では朝礼の進行や、1日の作業スケジュールも2人が作成するほどになりました。大多和氏も、それまで現場での仕事に追われて請けられなかった仕事ができるようになりました。大多和氏は、ここまで我慢してきて良かった、と目を細めていました。

同友会との出会い

同友会の入会は、県組織増強委員長長の海野敦氏(海野サッシ商会)の紹介でした。仕事でつながりのあった海野氏が、何度も会社を訪ねてきては、同友会を推薦されたと言います。断りきれずにオプザーバーとして参加し、例会にて入会を決意。最初は、いくらか仕事につながれば良いかな、という軽い気持ちでの入会でした。同友会2年目には静岡支部感謝祭実行委員長として役員に名を連ね、県



工場内にて社員と共に

(有)静清鉄工

〒424-0113 静岡市清水区原28  
TEL : 054-367-1782  
URL : <http://seishin-tk.hp.gogo.jp/pc/>

設立 2004年  
社員数 6名  
入会年月 2015年7月  
事業内容 建築鉄骨、金物、テント倉庫

の、経営指針を創る会」で経営指針も作成しました。3年目の今年には支部青年部部長。軽い気持ちでの入会でしたが、現在は深く同友会の活動に関わっています。「同友会で勉強してきたことが、非常に役にたっている。今の自分があるのは同友会のお陰」と語ってくれました。  
取材・記事 藤本 浩氏  
プリントバリュー(株)・静岡支部

# 第32回全県経営フォーラムin沼津

## 人が生きる経営を实践し地域社会の真の担い手になる ～e.doyuの目的の総合実践のとき～

開催日：11月7日(水)

参加数：318名

会場：プラサヴェルデ

300名を超す参加者と共に学び合いを誓う石澤浩一実行委員長の挨拶で、2018年度の全県経営フォーラムは幕を開けました。続いて、参加いただいた来賓や関係機関、また参加会員に向けて河合浩史代表理事が主催者を代表して挨拶しました。来賓を代表して、頼重秀一沼津市長は「中小企業の人手不足が一層深刻な問題となっているなか、沼津市では沼津市中小企業振興基本条例に基づく振興会議で、地域の中小企業の喫緊の課題に対する意見交換を行っている」と述べられ、続いて静岡県経済産業部商工業局地域産業課の影山敦彦課長、東海財務局静岡財務事務所の山崎正晴所長からもご祝辞をいただきました。最後に、石井潔静岡大学学長、広浜泰久中小企業家同友会全国協議会会長からいただいた祝電を披露し、全体会は閉会しました。引き続き、十河孝男氏（徳武産業㈱）／香川同友会）の記念講演と「経営指針に基づく経営



石澤浩一実行委員長



分科会でのグループ討論の様子

への挑戦」「人材多様化への挑戦」などテーマごとに6つの分科会で学び合いました。分科会終了後に開催された懇親会では、それぞれ分科会での学びを持ち寄り、活発な交流の場となり、幕を閉じました。

〈当日ご参加頂いた来賓の皆様〉

- 頼重 秀一様 沼津市長
- 影山 敦彦様 静岡県経済産業部 商工業局地域産業課 課長兼 まちづくり室長
- 山崎 正晴様 財務省東海財務局静岡財務事務所 所長



ご来賓の皆様

- 岩崎 一雄様 沼津商工会議所 会頭
- 渡邊 好孝様 沼津市商工会 会長
- 山本 義彦様 静岡大学 名誉教授
- 小松 善雄様 中同協企業環境研究センター 顧問

〈当日参加いただいた行政・関係機関（団体名のみ紹介）〉  
財務省東海財務局静岡財務事務所／静岡県経済産業部／沼津市産業振興部／富士市産業経済部／沼津市商工会／㈱静岡中央銀行／三島信用金庫／島田信用金庫／沼津信用金庫／埼玉・愛知同友会会員

## 分科会報告者の皆さま



第1分科会  
川村 友美氏  
(こるどん㈱)



第2分科会  
鈴木 高史氏  
(㈱鈴木製作所)



第3分科会  
梶山 康行氏  
(㈱アイティーエス)



第4分科会  
松葉 秀介氏  
(松葉倉庫㈱)



第5分科会  
上野 祥之氏  
(エスティーエス㈱)



第6分科会  
田中 俊臣氏  
(㈱平成建設)

全県経営フォーラムin沼津の内容は、12月下旬にe.doyuで配信する報告集をご覧ください！

## 第32回全県経営フォーラム in 沼津 記念講演

# 足元に笑顔をお届ける会社 奇跡を起したピントクの靴

講師 十河 孝男氏 (徳武産業株) 取締役会長・香川同友会)

### 激動の中で挑んだ脱下請、脱OEM

昨年で創業60年を迎えた徳武産業株は、妻の両親が手袋の製造を手掛けたのが始まりでした。その後、大手の学童用シューズの縫製下請けに着手。私は妻の伯父の会社で海外赴任などを経験した後、義父の要望に応える形で弊社に入社しました。しかしそれから1ヶ月経たないうちに義父が急逝し、私は37歳で社長に就任。売上の95%は大手の縫製下請の仕事で営業の必要が無く、仕事についても社員の方が良く分かっております、私は頼りない社長でした。

ある日、元請けの大手メーカーから、3年で取引ゼロにするという、死刑宣告ともいべき話が来しました。そこで弊社は、売上の5%に当たる旅行用スリッパ製造事業を足掛かりに、脱下請けに挑みました。7年がかりで、ルームシューズにおいては通販を中心に国内ナンバー1のシェアに成長



十河 孝男氏

しました。安定してきたと感じていた折、売上の約40%を占める大手通販会社の担当者が交代しました。すると、前任の担当者が良いと言っていたものが、完全に否定されます。担当が変わる度に経営が不安定になることを痛烈に感じ、OEMからの脱却を決意しました。

### 靴業界の「常識」に挑んで生まれた「あゆみシューズ」

自社ブランド製品を模索していた折、介護施設の園長から「入居者が転ばない靴を作ってほしい」という依頼がありました。いくつかの要望があった中で、最大の難問は「左右サイズ違いで購入できること」という、靴業界の非常識とも言えるものでした。しかし、履ける靴が無く困っている人達を何とかしてあげたい思いで、やろうと決めました。すると「左右サイズ違い」というニーズの裏には「片方だけ購入したい」というニーズが隠れていることに気が付き、他に先駆けて始めました。このようにして、弊社の「あゆみシューズ」は誕生しました。やがて弊社には、足に悩みを抱える方々から様々な問い合わせが来るようになりました。その声や想いに寄り添い喜んでいただくため、シューズの開発の他、物流の改善



「あゆみシューズ」を紹介する十河氏

などに取り組んでいきました。

### 変革こそ中小企業の生きる道

私は社長に就任して以来「やっあって良かった」と思う仕事をし、かけがえのない社員達を幸せにしてやろう」と思っ一所懸命に頑張ってきました。そして、イノベーションに取り組み、業種業態を変えていく努力をしてきました。

かつての縫製の元請や通販会社の担当者「変わるしかないんだ」と強く示唆してくれていたように思います。そんなご縁の

中、弊社は8,200万円の売上が25億円近くにまで成長しました。それはひたすらお客様に寄り添い、損得ではなく喜んでいただくことをやっていった結果です。それが中小企業の生きる道なのです。

中小企業家だからできるものが、変革の中にあります。だから、変化していきましょう。もし苦しい状況の方がいたら、変革のチャンスです。皆さんも社長の役割、使命を果たしていきましょう。そして、同友会で学び、よい仲間を作り、よい経営者を目指しましょう。

※12月下旬に、講演内容を記載した「報告集」を会員皆様に配信します。そちらもぜひご覧ください。

#### 徳武産業株

〒761-0901 香川県さぬき市大川町富田西3007

- 創業/1957年
- 設立/1966年
- 資本金/1,000万円
- 年商/24億2,600万円
- 従業員/正規69名、パート5名
- 業種/ケアシューズ、ルームシューズ等の企画・製造・販売

#### ■経営理念/

- 一、超高齢社会に商品とサービスを通して社会に貢献します
- 一、全社員の物心両面の幸せを追求します
- 一、全国、世界の高齢者、障害者の心に響く感動を提供し続けるオンリーワン企業を目指します

2019年 12月・1月

DOYOU CALENDAR

12月15日(土)~2019年1月15日(火)

12月15日(土)	障がい者問題委員会クリスマスバザー (9:30 あおばシンボルロード)
18日(火)	沼津例会 (19:00 沼津商工会議所)
19日(水)	伊東例会 (19:00 ひぐらし会館)
20日(木)	榛原望年例会 (18:30 うおとも) 富士例会 (19:00 ロゼシアター)
21日(金)	イントロセミナー~同友会と私 (19:00 同友会事務局)
22日(土)	静岡共学ゼミ (14:00 かまくら文庫)
26日(水)	理事会 (17:00 同友会事務局)
27日(木)	景況調査記者発表 (10:00 葵区役所)

2019年1月10日(木)	御殿場市経済交流交歓会 (1月例会) (17:00 御殿場高原ホテル)
11日(金)	富士宮例会 (19:00 志ほ川)
12日(土)	榛南経済人賀詞交歓会 (17:00 うおとも) 同友会大学 (14:00 同友会事務局)
15日(火)	正副代表理事会 (15:00 同友会事務局) 静岡例会 (19:00 センチュリー静岡) 浜松例会 (19:00 ザザシティ中央館5F)



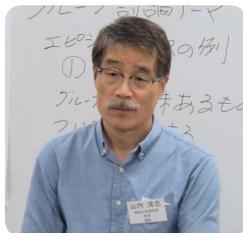
《あなたのスケジュールノートに必要な事項をご記入ください》

第16期 同友会大学 第3講座

環境が遺伝子の働き方を変える

講師 静岡大学理学部 教授 山内 清志氏

11月10日(土)



山内 清志氏

静岡大学の山内教授から“環境が遺伝子の働き方を変える”と題して講義を受けました。ゲノムDNA解析により人間はもちろん様々な生物の遺伝子情報が解析されています。遺伝子の本体である物質はDNAで、一個のヒトの細胞に存在するDNAをまっすぐ繋ぐと、その長さは2メートル。それに対して、細胞の直径は約10μm (1mmの100分の1)。では、この長いDNAがどのように小さな細胞内に収納されているかという不可思議な講義から始まりました。遺伝子 (DNA) 情報は、遺伝子を取り巻く環境 (エピゲノム) により情報が発現したりしなかったりする (遺伝子発現の制御) ことにより、同じ遺伝子を持っていても個体によって様々な違いが生ずるが、それでも細胞分裂によってDNAの配列に異変を起こさずに継承されていくということのようです。誠に不思議な神の世界のお話です。発生初期の細胞は、分裂しながら筋肉になり神経になり皮膚になり赤血球等々になる。山中教授のiPS細胞は未分化状態に戻した細胞ということ。もう少し大きく人間で見ると、例えば一卵性双生児は同じDNAだが、育つ環境の違いで個体に違いが出る。環境によってDNAの発現が左右されるとは、環境や老化によって病気が出たり、ストレスが行動を変えたり、化学物質も体を変える。働く環境が良く、ストレスが無ければ社員は伸び伸びと力を発揮するという事は、遺伝子学からも正しいのだと、私は妙に納得した難解ながらも楽しい講義でした。

知久 正博氏 (知久太田会計事務所・榛原支部)

同友会大学 1月以降の日程

- 1/12(土) 「人口減少下における『持続可能な観光地』実現のための『観光地経営』(仮)」  
静岡大学学術院人文社会科学領域 准教授 太田 隆之氏
- 2/9(土) 「同友会型リーダー・リーダーシップへの問題提起」  
元東京農業大学教授/中同協企業環境研究センター顧問 小松 善雄氏
- 3/9(土) 「土着の合理主義者としての二宮尊徳」  
静岡大学学長 石井 潔氏

スポット受講料5,000円 受講申込み・お問合せは同友会事務局まで TEL 054-253-6130



静岡同友会 Facebookページ



静岡同友会Facebookページで、会員企業訪問の様子や各支部例会の案内を掲載しています。ぜひご覧ください!